

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、天竜圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和3年12月20日（月）13時30分から15時00分まで
参加者	委員：14名 事務局：4名 その他：6名（高齢者福祉課：2名、長寿保険課：3名、包括支援センター：1名）
場所	二俣協働センター 2階 講座室
内容	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 浜松市高齢者福祉課</p> <p>3 前回ふりかえり 【事務局】 ・前回は行った内容について説明。</p> <p>4 情報交換・意見交換 【上阿多古】 ・上阿多古地区では相談先の一覧表を作ろうということで進んでいる。 ・上阿多古地区内で仕事している方の連絡先、利用できる連絡先を記載している。 ・利用する方が頼みやすいよう、基本有償で行っているところを入れ込んでいる。 ・ふすまの修理など地域で行っていない業者をどうしていくかが今後の課題である。 【下阿多古】 ・家事支援に向けて各戸、サロン会場での聞き取りのアンケートを実施中。 ・住民アンケート、サロンでの聞き取りアンケート、聞き取り用の説明書を作成した。 ・サロンでの聞き取り調査はご自身での記入が難しい方もいるため、フォローする人を入れている。 ・サロンでの聞き取りアンケートでは、できることだったら手伝ってもよい、という人が7、80代の女性で70%もいた。 ・住民アンケートは若い人が記入可能性もあり、手伝ってもよいという人がどの程度いるのかが不安。 【二俣】 ・以前行ったアンケートでは買い物支援や居場所について答えた方が多かったが、現在は二俣に6月から2カ所で移動販売を行っている。 ・今後は小さな困りごとや町中から遠い方への家事支援が必要になってくると感じている。 ・介護保険に当てはまらない人支援が必要になってくる。 ・家事支援活動を行う拠点がなく、思うように進んでいない。 ・二俣地区の別の会合で、地区社協で事業の連絡用に、携帯電話を所有し、事業を行</p>

っている地区もあると聞き、家事支援活動に応用できないかと思ったため、地区社協へ持ち帰りたい。

【光明】

- ・範囲が広いため鏡山エリアにて、住民の方へ生活上の困りごとのニーズ調査のため、アンケートを実施。
- ・何に困り、自分が手伝ってもよいかどうか、サロンについての内容で行う。
- ・1月末までに回収予定。

【竜川】

- ・地区社協が話し合いをする場が少ないのが課題であると感じる。
- ・配食サービス、ほのぼの会の配達ボランティアのためチラシを配ったり、声をかけたりした。口ではいいよと言うが、実際の配達参加は今のところない。
- ・現在はまだ何とか出来ているが、今後必要性が出てくる。

【春野】

- ・困ったときの連絡帳を希望世帯に配布した。
- ・自治会連合会、地区社協、更生保護女性会の方々と協力して行うことができた。
- ・2月頃連絡帳についてのアンケートを行う予定。
- ・生活上の困りごととしては、交通の問題が大きく春野町全体としても検討している。

【熊】

- ・広報紙「熊地区部会だより」を発行した。
- ・ふれあいバスについて、使っている方へのインタビューや広報紙の記事構成について検討してきた。
- ・記事の中で、地区部会の委員募集を行った。

【春野】

- ・困った時の連絡帳について配布した後、民生委員の訪問時に様子を伺うと、「使ってみたくなった」という声もあった。
- ・地域の方が発行している「道草だより」というものがあり、書いている方の家では地域の方が集まる居場所となっている。

【上阿多古】

- ・春野町の連絡帳について有償支援はどのように考えていったのか。

【春野】

- ・春野町では上阿多古のようにお店ではなく、医療・介護・暮らしについての基本的な連絡先と自分についてのことの連絡帳となっている。

【上阿多古】

- ・地域では基本的に自助ができており、周りの方も協力的である。
- ・困っている人は手を上げず、周りの人が気づいて支援につながることが多い。
- ・この相談先一覧表はあくまでもスタートであると感じている。

【下阿多古】

- ・アンケートの精度を上げ、生の声を聴きたいという思いで行っている。

- ・サロン参加者用のアンケートで使う聞き取り用の説明書については誰が行っても回答の精度を保てるようにするために作った。
- ・サロンに来ている方には、1問1問の聞き取りが必要であると感じた。
- ・このアンケートの意図がどこまで伝わっているかはわからないが、返ってきた答えを見て、検討していきたい。

【二俣】

- ・先日17日の二俣地区部会では、3機関の話しを聞いてグループに分かれて話し合いを行った。
- ・一つは移動販売や家事支援についての話しが出ており、もう一つのグループでは困っている人が話しやすい身近な人がどこに繋げていいかわからない。というところから地域の集まる場所やいろいろな機関の人が集まり、相談先を知るつながりサミットのようなこともよいのではないか。という意見があった。

【上阿多古】

- ・一覧表の情報について、上阿多古以外から来る関係機関などに知ってもらっておいたほうがよいのか。

【包括】

- ・ケアマネージャーなども地域ある資源を知りたいため、お互いに情報を知ることができると思う。

【二俣】

- ・森のマルシェきこころがファミリータウンにできることで、地域の方と一緒に作っていきたいと考えていると聞いた。

【竜川】

- ・他地区の情報を聞き、活気があると感じた。
- ・地区社協の方が地域へ持ち帰ってくれることが良いのではないかと思う。
- ・この会議のことを地区社協に話しをしてみて、竜川がよりよくなっていけばよいと思う。

【包括】

- ・ケアマネとして春野町で連絡帳について聞くと、「1冊で2人分書いて使ってるよ」「シールを貼るだけだったから使ってるよ」「もらってうれしかった」などの声があり、皆さんの活動が確実に地域に届いているのだと思った。

【天竜厚生会】

- ・話し合いに参加するたびに初めて知ることが多く、地域の活動を知ることができる。

5 その他

6 次回の予定

【事務局】

- ・次回は2～3月頃を予定している。

	7 閉会
今後の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> ・熊地区：活動の周知を通して委員の増員を目指し、幅広い層からの情報集約を目指す。 ・上阿多古地区：相談先の一覧表を作り、各戸配布をしていく。 ・下阿多古地区区：家事支援実施のためのアンケート調査を行っておりアンケート結果を精査していく ・二俣地区：社会資源マップの活用の検討と新たなボランティアの担い手の発掘方法の検討 ・光明地区：鏡山エリアの生活課題の検討と課題を光明地区の課題として解決する仕組みづくりの検討につなげる ・竜川地区：地域の課題を解決するための核となる組織や人材の発掘と育成を検討していく。 ・春野地区：困ったときの連絡帳の配布にかかわる人材の募集と育成についての検討を行う